

経済指標解説

2014年11月7日

主要な経済指標の発表予定と予測 (11/10~11/14)

経済調査部
松浦大将
03-3591-1435
hiromasa.matsuura@mizuho-ri.co.jp

【来週の注目材料】※ () 内はみずほ総研予想

- 11日 : 9月の経常収支 (4,985億円の黒字)
: 10月の消費動向調査
: 10月の景気ウォッチャー調査
- 12日 : 9月の第3次産業活動指数 (前月比+0.8%、前年比▲1.3%)
: 10月のマネーストック
- 13日 : 9月の機械受注 (船舶・電力を除く民需) (前月比▲3.3%、前年比+0.8%)
: 10月の国内企業物価指数 (前月比▲0.4%、前年比+3.3%)
: 9月の設備稼働率

新車販売台数は2カ月連続の増加

4日に発表された10月の新車販売台数(登録車・軽自動車の乗用車計、みずほ総合研究所による季節調整値)は、前月比+1.4%(9月同+7.8%)と2カ月連続で増加した。内訳をみると、軽自動車(同▲0.7%)が小幅に減少したものの、新型車の投入効果などから登録車(同+2.7%)が押し上げに寄与した。新車販売台数は1月をピークに減少傾向が続いていたが、足元では底入れしつつあるようだ。

名目賃金は7カ月連続の増加

5日に発表された9月の名目賃金は前年比+0.8%(8月同+0.9%)と7カ月連続で増加した。特別給与の増加幅が縮小したが、所定内給与の伸びは緩やかに拡大している。物価調整後の実質賃金(持家の帰属家賃を除く総合消費者物価指数により実質化)は、同▲2.9%(同▲3.1%)と依然物価上昇に伴う負担増を補うには至っていないものの、徐々にマイナス幅は縮小している。また、2014年の夏季賞与は前年比+3.1%となった。2013年度の業績改善や2014年春季賃上げ率の上昇などを背景に、1991年(同+6.3%)に次ぐ高い伸びとなった。

来週は、経常収支、機械受注統計などが発表される。

経常収支(原数値)の黒字は前年から縮小

11日に発表される9月の経常収支は4,985億円の黒字(8月2,871億円の黒字)と予測する。所得収支が高水準で推移する一方、輸入の増加により貿易収

第3次産業活動指数は3カ月ぶりの上昇

機械受注は4カ月ぶりの減少

国内企業物価指数は前年比プラス幅が縮小

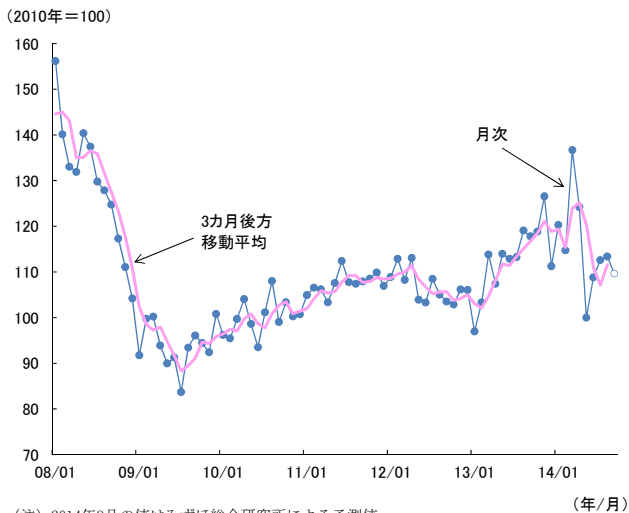
支の赤字が前年同月と比べ小幅に拡大するとみられることから、経常収支の黒字は前年同月（5,948億円の黒字）から縮小する見込みである。

12日に発表される9月の第3次産業活動指数は、前月比+0.8%（8月同▲0.1%）と予測する。秋冬物衣料の販売が好調だったことなどから卸売業、小売業の活動指数が上昇し、第3次産業活動指数は3カ月ぶりに前月比プラスとなる見通しである。

13日に発表される9月の機械受注（船舶・電力を除く民需）は、前月比▲3.3%（8月同+4.7%）と予測する。3カ月連続で増加した反動などから9月は前月比マイナスとなる見込みである。ただし、企業の設備投資意欲は底堅く、7～9月期の受注は内閣府見通し（前期比+2.9%）を上回るだろう。

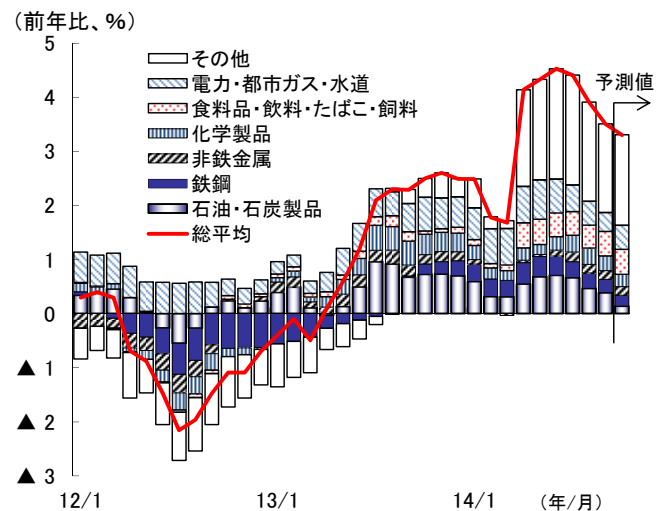
同日発表される10月の国内企業物価指数は、前月比▲0.4%、前年比+3.3%（9月前月比▲0.1%、前年比+3.5%）と予測する。原油価格の低下を背景に石油・石炭製品の価格上昇幅が縮小することなどから、国内企業物価指数は前年比プラス幅が縮小する見通しである。

図表1 機械受注（船舶・電力を除く民需）の推移



(注) 2014年9月の値はみずほ総合研究所による予測値。
(資料) 内閣府「機械受注統計調査報告」

図表2 国内企業物価指数の推移



(注) 2014年10月はみずほ総合研究所による予測値。
(資料) 日本銀行「企業物価指数」

執筆担当～ 松浦大将

予測担当～ 経常収支：大和香織、国内企業物価指数：風間春香、

機械受注統計、第3次産業活動指数：坂中弥生

米国主要経済指標（ダイアリー掲載分）：山崎亮

●当レポートは情報提供のみを目的として作成されたものであり、商品の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成されておりますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。また、本資料に記載された内容は予告なしに変更されることもあります。

【 来週のダイアリー 】

日付	経済指標等		予想	前回	前々回		
11/7(金)	米	雇用統計(10月)					
		失業率	[5.9%]	5.9%	6.1%		
		非農業部門雇用者数	[+230千人]	+248千人	+180千人		
		時間当たり賃金 (全従業員ベース)	[+0.2%]	▲0.0%	+0.3%		
		イエレンFRB議長講演 (パリ)					
11/8(土)	中	貿易収支(10月)	米ドル	+422億ドル	+309億ドル	+499億ドル	
		輸出総額(10月)	前年比	+10.7%	+15.3%	+9.4%	
		輸入総額(10月)	前年比	+5.0%	+7.0%	▲2.4%	
11/10(月)	中	消費者物価指数(10月)	前年比	+1.6%	+1.6%	▲2.0%	
	米	3年国債入札					
11/11(火)	日	経常収支 (前年比)	[+4,985億円]	+2,871億円	+4,167億円		
		国際収支(9月速報)	[▲16.2%]	+82.7%	▲30.6%		
		貿易収支 (前年比)	[▲7,841億円]	▲8,318億円	▲8,281億円		
		景気ウォッチャー調査(10月)	現状判断DI	N.A.	47.4	47.4	
		消費動向調査(10月)	消費者態度指数	N.A.	39.9	41.2	
		30年利付国債入札					
	米	ベテランズデー(祝日)					
11/12(水)	日	第3次産業活動指数(9月)	前月比	[+0.8%]	▲0.1%	▲0.3%	
			M2 前年比	N.A.	+3.0%	+3.0%	
		マネーストック(10月速報)	M3 前年比	N.A.	+2.5%	+2.5%	
			広義流動性 前年比	N.A.	+3.2%	+3.1%	
	米	10年国債入札					
11/13(木)	日	機械受注(9月)	前月比	[▲3.3%]	+4.7%	+3.5%	
		[船舶・電力を除く民需]	前年比	[+0.8%]	▲3.3%	+1.1%	
			設備稼働率(9月)		N.A.	96.4	98.1
			国内企業物価指数(10月)	前月比	[▲0.4%]	▲0.1%	▲0.2%
				前年比	[+3.3%]	+3.5%	+3.9%
			5年利付国債入札				
		中	鉱工業生産(10月)	前年比	+8.0%	+8.0%	+6.9%
		米	失業保険新規申請件数(~11/8)		[285千人]	278千人	288千人
			30年国債入札				
		尼	金融政策決定会合				
	韓	金融政策決定会合					
11/14(金)	米	小売売上高(10月)	前月比	[+0.1%]	▲0.3%	+0.6%	
		ミシガン大消費者信頼感指数(11月速報)		[88.0]	86.9	84.6	

予想：[]はみずほ総合研究所予想、それ以外はコンセンサス(Bloomberg等)。予定は変更になる可能性があります。
日：日本、米：米国、中：中国、韓：韓国、尼：インドネシア